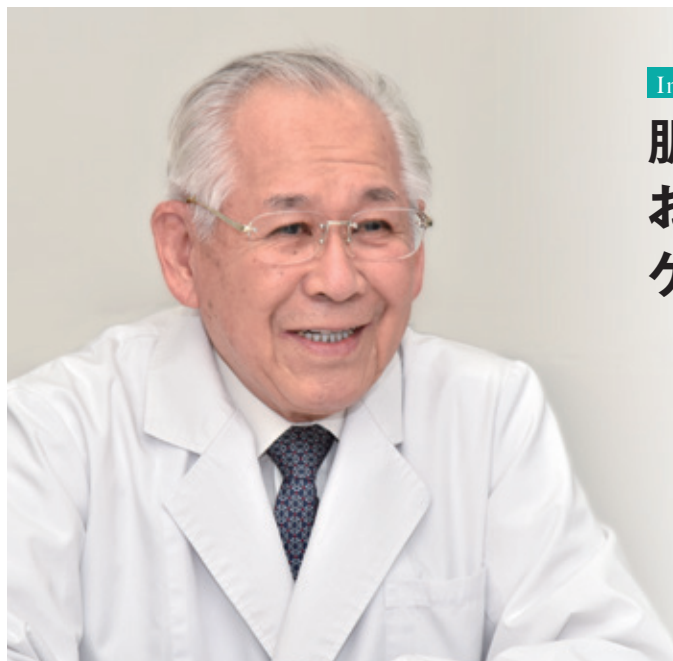




CONTENTS.....

Interview 肌トラブルと「摩擦・ずれ」の関係について
 新製品開発レポート おむつの中の「ずれ」の実態に迫る！
 社会福祉法人溪仁会 介護老人福祉施設
 手稲つむぎの杜



Interview

肌トラブル予防に向け、 おむつの中の「ずれ」を意識した ケアを心掛けましょう

北海道大学名誉教授

医療法人社団廣仁会

褥瘡・創傷治癒研究所 所長

おお うら たけ ひこ

大浦武彦先生

超高齢社会に際し、褥瘡の社会問題化を予見し、1998年に日本褥瘡学会を設立。褥瘡の予防から治療まで、広範かつ多岐にわたる問題の研究を行う日本の褥瘡治療研究の第一人者。また日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会理事長、日本下肢救済・足病学会理事長としても活躍。著書に「見て・考える褥瘡ケア 創面をみればすべてがわかる」(中山書店)ほか多数

おむつの中の「ずれ」も肌トラブルを招く！

私は褥瘡の専門家として、長年にわたり、病院や在宅で高齢者の肌トラブルの治療にあたってきました。肌トラブルの多くは、体にかかる「圧」と「ずれ」が一因です。ここ数年の研究で、従来行われてきた褥瘡予防のための体位変換やおむつ交換も、頻回な場合には、却って圧やずれを生じさせ、肌トラブルを引き起こしかねないことがわかってきました。このことをつきとめて以来、私はおむつ交換回数を少なくすることを推奨しています。

さらに研究が進み、最近になって判明した一つの事実があります。それは、おむつをしている際、便・尿の刺激だけでなく、おむつの中で生じる圧とずれもまた肌トラブルの一因になっているということです。このずれは、体位変換やヘッドアップ、移乗などごく日常的な介護のシーンで発生し、また皆さんの想像以上に、肌に負担をかけています。

たとえば、ヘッドアップの際、体が少しでも下にずり落ちると、おむつと肌がこすれ、そこが傷の元となります。おむつは、マットレスや衣服よりもダイレクトに肌に触れています。肌トラブル予防には、ふだん目に見えないおむつの中の「ずれ」を意識することが大切なのです。

圧とずれ、さらさら感、交換頻度に気を配る

では、実際どのような点に気をつければよいのでしょうか

か。まずは圧とずれの除去です。背抜きは多くの現場で実践されていると思いますが、ぜひ殿部までの圧抜きとずれの除去も行ってください。特に仙骨や尾骨に骨突出がある場合、同じ重さをより狭い範囲で受けるため、組織が損傷しやすくなります。マルチグローブなどを用い、手を滑らすようにして丁寧に行うとご本人に負担をかけず、圧やずれが低減できます。

また、おむつが濡れたままだと傷を悪化させるのみならず、摩擦力も数倍になるので、いつもさらさらな状態を保つよう心掛けてください。とはいえ、圧やずれの低減、そして良眠確保の観点からもおむつやパッドの交換頻度は少ない方がベターです。さらさら感が長時間持続し、ずれにも配慮したパッドも製品化されています。そうした高機能な製品を上手に活用することもおすすめです。

利用者様に優しい、「考えるケア」の実践を

おむつにまつわるケアは丁寧であればあるほどいい。それが褥瘡の専門家である私の考えです。肌トラブルを招くか否か、今より悪化させてしまうか否かは、介護にあたる皆さんの手技一つで大きく変わります。だからこそ、その動きの意味や効果を考え、理解した上で行うことが重要なのです。ぜひこうしたメカニズムを学び、確かな知識を身に付けてください。利用者様のQOL向上をめざし、丁寧で優しい、そして何より「考えるケア」を実践していきましょう。

おむつの中の「ずれ」の実態に迫る!

紙おむつ使用者の
肌トラブル

31%

※介助で座れる方、寝て過ごす方の調査結果(ユニ・チャーム調べ)

「摩擦・ずれ」を低減するため、おむつで何ができるだろうか?

ちょっとした圧迫や摩擦も肌の刺激となる高齢者。実際、紙おむつ使用者の約3割が何らかの肌トラブルを抱えています*。「体圧はマットレスなどで改善できますが、摩擦やずれは、肌とおむつが接する面で生じるもの。だからこそ、おむつの機能には、肌トラブル予防に寄与する『ずれ対策』も大切だと考えました。」そう語るのはライフリー製品の開発を担う戸田温樹研究員です。おむつ使用時の肌トラブルのリスクを減らす新たな製品——鍵を握るのは、知られざる「おむつの中のずれ」でした。その実態に迫ることから開発はスタートしたのです。



ユニ・チャーム株式会社
グローバル開発本部 商品開発部
戸田温樹

「ずれ力」の発生メカニズムとは?

重みによる圧や水平方向に動く摩擦によって、組織内に生じるひずみ。それが「ずれ」です。たとえばヘッドアップの時など、体のずれでまず皮膚が伸び、皮下組織にひずみが発生。皮膚が伸び切って一定水準に達するとずれの力=ずれ力が上昇し、肌とおむつの表面がこすれ始めます(図1)。この一連の動きが、肌へのダメージの元になるのです。

図1: ずれ発生のメカニズム

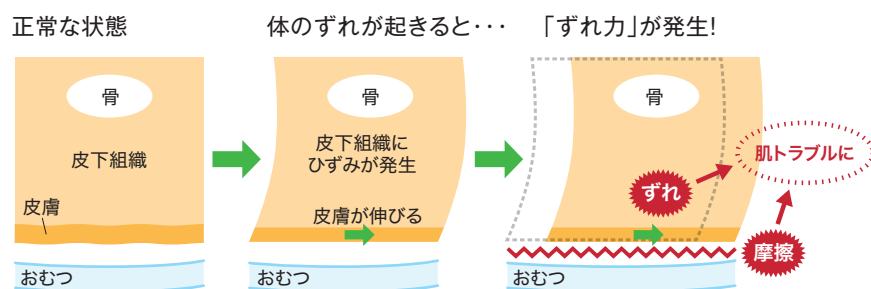
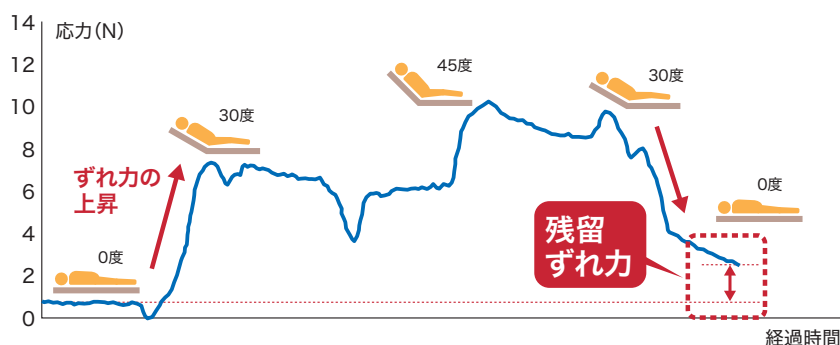


図2: ヘッドアップ・ダウン時のずれ力の計測結果 ※ユニ・チャーム調べ



ずれ力はヘッドアップに伴って上昇し、ダウンすると低下しますが、検証によって、傾斜25度程度でも皮下組織がかなりひびくこと、またダウンさせても、皮膚や皮下組織がずれたまま元に戻らない「残留ずれ力」が存在することもわかりました(図2)。

「おむつの中」「肌の中」をこうして可視化!

外から見ただけではわからない「ずれ」の現象をどうとらえるか? 検証にも創意工夫を凝らしました。



①透明なベッドを開発し、ベッドの下から皮膚の伸びやひずみを分析。仙骨付近が大きくひびくことを目視で確認しました。

②さらに超音波を用いて、皮下組織の状況を可視化。皮膚の内部組織もヘッドアップと同時に動いてひびくことが判明しました。

世界初[※]

「ずれ力」を逃がす新構造を開発！

ずれのメカニズムと
製品の特徴をムービーで解説
短縮版
<http://www.unicharm.co.jp/HC012/>



「人の手のケアでは難しいところをおむつで何とかできないか——そう考えた私たちは、おむつ側でずれを抑制する尿とりパッドの開発に力を注ぎました。まず、2つのシートをスライドさせて「ずれ力」を逃がすという、世界で初めての構造を考案。同時に基本性能であるモレ防止、肌の快適性保持も徹底追求しました。滑りの良さ、さらさら感、通気性、適度な柔らかさ。試行錯誤しながら、本来並び立つことが難しいこの4つの要素を、わずか1mm以下のシートで実現。構造にも素材にもこだわり尽くした新製品ができました」(戸田研究員談)



新開発のドライメッシュシート
を手に説明する戸田研究員



上下2つのシート(さらさらスライドシート、ドライメッシュシート)が滑って、肌にかかるずれ力を逃がす画期的な構造

※製品後方部の肌側に低摩擦シート、カバーシートを有し、カバーシートが低摩擦シートの上を滑ることにより身体の動きに追従し、ズレ力を低減する構造
(主要グローバルブランドにおける大人用尿取りパッド対象 2017年7月ユニ・チャーム調べ)

実際にお試しいただき、 ずれ力の低減効果を確認しました。

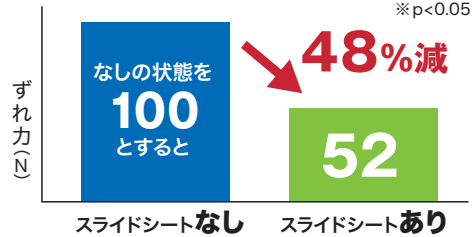
製品化に際し、骨突出や拘縮のある方など、施設の利用者様にお試しいただきました。大浦武彦先生と手稲つむぎの杜の皆様のご協力の下、新構造によるずれ力の低減を確認することができました。



おむつ着用時のヘッドアップに伴う
ずれ力の変動を確認！

ヘッドアップ45度での「ずれ力」

※ $p < 0.05$



Voice

検証にご協力いただいた
手稲つむぎの杜の職員の方へ
お話を伺いました。

社会福祉法人 湊仁会
介護老人福祉施設
手稲つむぎの杜
(北海道 札幌市)



「おむつの中で起きていること」を念頭に 肌トラブル対策とQOL向上を推進します

日頃の看護やケアにおいて、体位変換時の圧やずれ、シートや寝間着のシワは気にしていましたが、今回の検証で、ふだん目にする事の少ないおむつの中の状態「ずれ」を観察し、意識することができました。結果として「ずれ」を意識することの大切さをよりいっそう痛感しました。今後も利用者様が快適に過ごせるよう、新人からベテランまでスタッフ全員が圧やずれに関する正しい知識、スキルを持って、日々のケアにあたっていきます。

施設ケア部 部長
加賀谷泰子さん



「ずれ」を意識した的確なケアで、 利用者様の快適な毎日を支えます

ヘッドアップの角度が低く、姿勢保持用のクッションを使ったり、体位変換後に枕を入れたりしても、体はズリ落ちてしまうことが今回の検証に参加してよくわかりました。新しいパッドは、シートによってずれを逃がす仕組みはもちろん、何よりとてもさらさらな点に感心しました。今回、体のずれとおむつの関係をしっかり認識できたので、さらに注意深く、繊細なケアを心掛けて、利用者様の肌トラブル対策を進めていきたいと思っています。

施設ケア部
生活支援課 主任
岡島美幸さん



世界初!*

**ライフリー独自の特許技術を搭載
殿部にかかる摩擦・ズレ力^{※2}を低減した
長時間用パッド**

※1: 製品後部の肌側に低摩擦シート、カバーシートを有し、カバーシートが低摩擦シートの上を滑ることにより身体の動きに追従し、ズレ力を低減する構造(主要グローバルブランドにおける大人用尿取りパッド対象 2017年7月ユニ・チャーム調べ) ※2: 体圧のかかった状態で身体がずれた時に肌とおむつの間にかかる力



一晩中安心さらさらパッド

Skin Condition

品質五つ星の尿とりパッド ★★★★★

特許技術

★ **世界初!*** 肌への摩擦・ズレ力^{※2}を低減

「さらさらスライドシート①」が「ドライメッシュシート②」の上を自由に動くので、肌への摩擦・ズレ力を逃がし負担を軽減

★ **おしりさらさら 長時間キープ**

「ドライメッシュシート」が吸収後の尿の逆戻りを低減するので、長時間使用でもおしりさらさら

★ **耐久ギャザーで横モレ安心**

3本のゴムでギャザーがしっかり立ち上がり、
大量の尿を吸収後も横モレ安心

特許技術

★ **不純物の混じった尿でもしっかり吸収**

「引き込み吸収ライン」「なみなみシート[®]」が
不純物の混じった尿をスピード吸収、モレ安心

★ **ふんわりなめらか やさしい肌心地**



* アンモニアについての消臭効果がみられます。

↓ 詳しくはこちら……………

ケアに役立つすべてのメカニズムと
製品の特徴をムービーでご紹介しています!
ぜひご覧ください。



フル版
<http://www.unicharm.co.jp/HC013/>



	サイズ (巾×長さ)	バックシート カラー
スーパー	28×60cm	紺藍 ■
ウルトラ	28×60cm	紫 ■

〒108-8575
東京都港区三田3-5-27
住友不動産三田ツインビル西館
ユニ・チャーム株式会社
TEL. 03-6722-1015
FAX. 03-6722-1042

ライフリーサイト
<http://www.unicharm.co.jp/healthcare/>



排泄ケアナビ
<http://www.carenavi.jp/>



2018年1月発行